



## 令和3年度産きび生育について

R3年度の生育状況については、大きな気象災害も無く、天候にも恵まれ、仮茎長234cm（農林8号：昨年比114%）と順調な生育を確保できています。また令和3/4年産の面積については、2,217ha(7/1日現在)と昨年度より約41ha増と微増しております。引き続き面積推進へのご協力を宜しくお願いします。

9/30日現在



はるのおうぎ R3年10月撮影

	茎長(cm)	昨年比	平年比	茎数(本)	昨年比	平年比
農林8号	234	114%	116%	82	103%	90%
農林18号	257	110%	-	78	98%	-
農林22号	259	109%	115%	79	99%	86%
はるのおうぎ	239	110%	-	132	107%	-

\*農林18号、はるのおうぎについて平年値はなし。はるのおうぎは春植、1株のみ調査結果。

### 出穂きびは軽くなる！？

生育の良い年は、さとうきびの出穂が早く発生することがあります。出穂したきびは、種子成熟に伴い茎の海綿化が起こり、**重量の軽量化**や、**糖度の低下**等、品質に悪影響を及ぼす場合があります。特に農林18号においては他品種よりも出穂が早い傾向にあり、出穂後は、茎上部の側芽の**動きの活発化**や茎下部の**芽子の硬化**等に繋がります。春植する際は早めの植付に努めましょう。収穫・採苗のタイミングが品質及び次年度作付に重要なポイントとなっていきます。

尚、次年度採苗予定圃場については、サムコルフロアブル10でメイチュウ防除を行い、健全苗の育苗に努めましょう。**額縁防除**でも高い効果があります。



H28年12月撮影



H28年12月撮影



### さとうきびポリマルチ回収費負担改定についてのお知らせ

新光糖業(株)では平成25/26年期よりポリマルチ被覆率向上によるさとうきびの増収を目的に継続してまいりましたさとうきびポリマルチ回収費負担金につきまして、令和3年度10月植付分（秋植分）より全額負担から半額負担へと変更させて頂く運びとなりました。近年の農業用廃プラスチック処理費用は、年々高騰を続けており、さとうきび生産資材廃棄物の減少と作業の効率化を図る具体的な対策が急務であり、生分解性マルチに着目しております。生分解性マルチについては、既に商品化されており、実用性として高い評価を受けております。弊社としましても生分解性マルチ早期普及に向けた取り組みについて関係機関と連携した前向きな検討を行ってまいり所存です。何卒ご理解の程宜しくお願い致します。